

令和8年度 京都市立修学院中学校 学校経営方針

目指す学校像(最高目標)

みんなの力で、修学院中学校を「世界でいちばん通いたい学校に！」

R8学校教育目標

ウェルビーイング 未来をたくましく生きる生徒の育成

目指す生徒像

自他の幸せを大切にし、探究を楽しみながら未来を切り拓く生徒

生徒につけたい資質能力

修中の子につけたい資質・能力

- ① **向学**: 各教科等で身につけた知識・技能を、日常の様々な場面において活用できる
【実際の社会で生きて働く知識及び技能】(文科省)
- ② **共創(探究)**: 課題解決に向けて情報を収集・分析したり、周囲の人と協働したりしながら、自らの考えを表現できる
【未知の状況にも対応できる思考、判断力、表現力】(文科省)
- ③ **立志**: 自らの生き方を考えながら、目標に向かってねばり強く取り組むことができる
【学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力】(文科省)

目指す学校像

校歌の歌詞を実現

- ① 地域を誇れる学校「♪比叡の高嶺の八重桜 さすや日陰にとけゆけば 小鳥楽しく歌ふなり♪」
- ② 生徒が誇れる学校「♪北山ぞひに飛ぶ蛍 散る白雪に身を鍛へ 心を磨く我等なり♪」
- ③ 保護者、教職員がわが子を通わせたいと思う学校
「♪ここ修学院中学校 新たなる世を生きむかな♪」

目指す教職員像

修中の教職員としての資質・能力

- ① 学校教育目標の実現のために、カリキュラムマネジメントを理解し、チーム(組織)の一員として仲良くできる教職員
- ② 一人ひとりの生徒を慈しみ、学ぶ喜びと向上心を与えられる教職員
- ③ 目指す生徒像の実現のために、絶えず研鑽しながら、自身のライフワークバランスを考え、自己変革できる教職員

学校経営方針

- ① 生徒につけたい資質能力(向学・共創・立志)を明確にし、その伸長を図る。
- ② 資質能力を生かした、探究的な学びの推進を図る。
- ③ 生徒にとって、教職員にとっての「世界でいちばん通いたい学校」の実現を目指す。
